

持続可能な
インパクトを
生み出そう



持続可能なインパクトを生み出そう CREATE LASTING IMPACT

R I 会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ 第2590地区ガバナー 宮田 彰久
第2684回例会 令和8年7月17日 2026-2027年度(第3号) 会報編集 真船禎紀

司 会
合 唱
会長挨拶

山内敏行 SAA

それこそロータリー(SL 加藤会員)

相澤隆二会長

皆さん、こんにちは。

先週の挨拶で、クールビズでの例会出席についての提案をしました。

そこで改めて、クールビズとは何かということまで調べてみました。

クールビズ(COOL BIZ)とは、環境省が推進する地球温暖化対策・省エネキャンペーンです。オフィスの冷房設定温度を28℃にしても快適に過ごせるよう、ノーネクタイやノージャケットなどの軽装や、それに適した働き方を促す取り組みを指します。

クールビズの主なポイント

目的: 夏場の冷房使用を控え、二酸化炭素(CO2)の排出量削減と電力消費を抑えること。

服装の目安: ネクタイや上着を外す「ノーネクタイ・ノージャケット」が基本です。その他、半袖シャツや通気性の良い素材の着用も推奨されます。

期間: 例年5月1日~9月末頃を目安に実施する企業や官公庁が多くなっています。

また、環境省のホームページではオフィス編や家庭編も紹介されていました。

その中で、「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)においては、「新しい豊かな暮らし」に向けた取組の一つとして、全世代が働きやすい服装を選べる「オフィス服装改革」(TPOに応じた服装の自由化)を呼びかけるとともに、クールビズ×サステナブルファッション、熱中症予防といった各種のキャンペーンを展開するなど、衣食住・職・移動・買物といった生活のあらゆる局面で国民・消費者の行動変容、ライフスタイル転換

を促し、脱炭素につながる豊かな暮らし創りを官民連携で進めています。

クールビズは、適切な温度での空調使用と各自の判断による快適で働きやすい軽装に取り組んでいただくことで、多様で柔軟な働き方にも資する省エネ・省CO2の取組です。環境省本省では、令和8年5月1日(金)から同年9月30日(水)までの期間で、集中的に実施します。

日々の気温、それぞれのワークスタイルや仕事環境等に応じて、健康を第一に、エアコンの温度を柔軟に設定いただきつつ、上記の期間に限らず、各自の判断による快適で働きやすい軽装の取組をお願いいたします。

【クールビズとは】

地球温暖化対策の一環として、平成17(2005)年度から政府が提唱する、過度な冷房に頼らず様々な工夫をして夏を快適に過ごすライフスタイル。適切な室温管理とその室温に適した軽装などの取組を呼び掛けています。

軽装以外の取組としては、省エネ型エアコンへの買換え、西側の日よけのブラインド、日射の熱エネルギーを遮蔽する効果がある緑のカーテンなどを推奨しています。・うちわや扇子を利用して体感温度を下げる・清涼感のある色使い、薄手の素材感など快適に過ごせる軽装・冷感グッズを使用・勤務時間の朝型シフト(残業を減らす効果も期待できる

出席報告 佐藤圭吾出席リーダー

会員総数	出席会員	欠席会員	今回出席率	前々回修正率
24名	22名	2名	91.67%	91.67%

第2590地区横浜瀬谷ロータリークラブ 2026~2027

会 長	相澤 隆二	会長エレクト	植田 信哉	〔例会場〕	横浜市瀬谷区二ツ橋町309-1
幹 事	花上 哲也	会報委員長	真船 禎紀		(eモール2F 会議室)
例会日	毎週金曜日			〔事務所〕	横浜市瀬谷区二ツ橋町309-1
点 鐘	12時30分				(eモール2F)

ので照明等に使用する電力の節電にも効果あり）・
扇風機を効果的に活用して冷たい空気を循環させる・OA 機器や照明からの放熱も冷房効率に影響するので、使わない機器の電源は OFF などが挙げられています。

これから本格的に暑くなってくるので、体調管理に気をつけてこの夏を乗り切っていきたいと思います。

会長あいさつ並びに報告を終わります。



幹事報告 花上哲也幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告させていただきます。

ガバナー事務所からの連絡

- 1.『2026-27 年度の月信公開要領と予算添付の件』が届いています。
- 2.『2029-30 年度 ガバナーノミニー候補者推薦依頼の件』が届いています。
- 3.『7 月ガバナー公式訪問の地区役員同行者のご連絡』が届いています。
- 4.『2027-28 年度ロータリー青少年交換学生募集の案内』が届いています。

※RI より、『上期人頭分担金請求書』が届きました。
7,088 円 (RI 人頭分担金+規定審議会) × 24 名 = 170,112 円を送金します。

※『第 1 回 第 5 グループ 会長・幹事会開催のお知らせ』が届いています。

日時：8 月 21 日 (金) 18:00～

場所：新横浜グレイスホテル

※(公財)ロータリー米山記念奨学会より、『ハイライトよねやま Vol. 316 号』が届いています。

※令和 8 年瀬谷区暴力団排除推進協議会総会のお知らせが届いています。

日時：8 月 28 日 (金) 16:00～17:00



例会のお知らせ 横浜旭 RC、横浜田園 RC、
横浜南陵 RC

祝行事 相澤隆二会長

おめでとうございます

誕生記念 依田紀久子会員 7 月 14 日



2025-26 年度皆出席者表彰

露木雄二会員 (37 年連続)・小澤 操会員 (34 年連続)・柳沼芳光会員 (26 年連続)・依田紀久子会員・森本 潔会員・益田裕隆会員・石山健人会員・花上哲也会員 (7 年連続)・鈴木典子会員・天野佑亮会員 (4 年連続)・植田信哉会員



ニコニコ BOX 天野佑亮親睦活動委員

依田紀久子会員 お誕生日のお祝いありがとうございます。

ニコニコ会計報告

収入：ニコニコ 1 件 5,000 円

新年度を迎えて 2 名 2,000 円

支出：誕生記念・入会記念品 66,825 円

累計 3,033,730 円

委員会報告

プログラム委員会 天野佑亮リーダー

8 月の例会予定表を本日配布しました。

7 日(金) 行政卓話 瀬谷区長 山岸秀之様

14 日(金) 休会

21 日(金) クラブフォーラム クラブ管理運営委員会 石井朗委員長

28 日(金) 行政卓話 瀬谷福祉保健センター福祉保健課健康づくり係長 内海和代様

クラブ協議会

GREEN×EXPO2027 実行委員会

露木雄二委員長、柳沼芳光委員

～GREEN×EXPO2027 についての活動計画～

国際園芸博開催まであと 8 ヶ月になりました。私たちのクラブは会場に最も近いクラブですので、多くのロータリアンが訪問すると思います。先日国際大会でパンフレットを配って参りましたが、特に台湾の人がとても興味を持っているようです。クラブ全体でお迎えするような体制を作る必要があります。皆様のご協力をお願いしたいと思います。



入場チケット

○券種と価格 (2027年国際園芸博覧会関係係会議にて承 (2025年12月5日))

項目	券種	概要	料金区分			販売期間	
			大人 (満18歳以上)	中人 (満12～17歳)	小人 (満4～11歳)	2024/3/18 ～ 2027/3/18	2027/3/18 ～ 開催中
前売チケット	1日券 (早期開催)	会期中いつでも1回入場可	4,900円	3,000円	1,400円	○	
	1日券 (通常開催)	会期中いつでも1回入場可	5,500円	3,300円	1,500円		○
会期中販売 チケット	夜間券	会期中いつでも17時以降1回入場可	3,500円	1,900円	900円		○
	特別観覧1日券	観覧の手続きをお済ませの方および団体客が購入可 ※観覧中いつでも1回入場可	2,800円	1,700円	800円	○	○
	通観バス	会期中いつでも何度でも入場可	28,000円	16,000円	6,500円	○	○
	夏バス	夏の深まった期間 (7/1～8/31) に限って入場可	12,000円	7,000円	3,000円	○	○
	一般団体割引券	15名以上の一般団体が会期中いつでも1回同時入場可	5,200円	3,100円	1,400円	○	○
販売・ 会期中販売 チケット				高校生・中学生・小学生・幼児			
	学校団体割引券	学校団体が会期中いつでも1回同時入場可		1,700円	900円	○	○

○販売開始日

・2026年3月19日 (販売中)

※開場時間は会期を通して、9:30～21:30を想定しています。

※価格は全て日本円・税別です。

(低チケットを購入する場合は、別途、追加料金をいただく予定です。)

※3歳以下の方は無料となります。

※前売チケットの販売は2027年3月18日までとなります。

チケット詳細はこちら



○販売方法

・2027年国際園芸博覧会公式チケット販売サイトを通じて販売します。また、旅行代理店や各種プレイガイド等の GREEN×EXPO協会が指定する販売事業者による販売も実施しています。

全体スケジュール



本企画の目指すところ

自然の循環 (サーキュラー)を伝える

・「めぐる粘土」をきっかけに、「つくる／分解される／土に還る／植物が育つ」という循環の体験を、来場者にしてもらう。

小さな子どもでも 参加しやすい 体験の場の提供

・小学生以下の子と保護者が、短時間でも楽しみながら、グリーンエキスポのテーマを感じられる体験できる場とする。

学生が「伝え手」となる

・インターアクトクラブの学生が、来場者への説明やサポートを通じて、学びを発信する。

工作体験だけで終わらず、「めぐる粘土」「グリーンエキスポ」「インターアクトクラブ」だからこそ、体験できる・伝えられる内容を目指す

YOKOHAMA
GO GREEN

19

